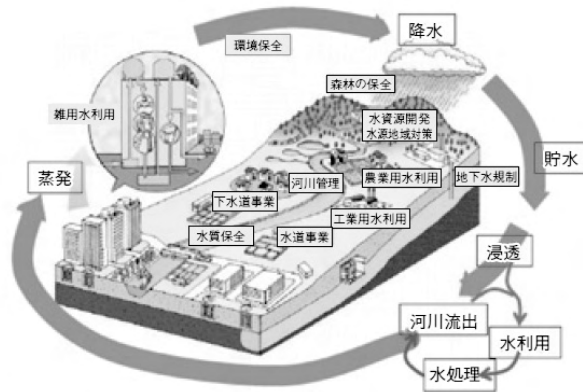


(資料1)

水循環の中の水道システム



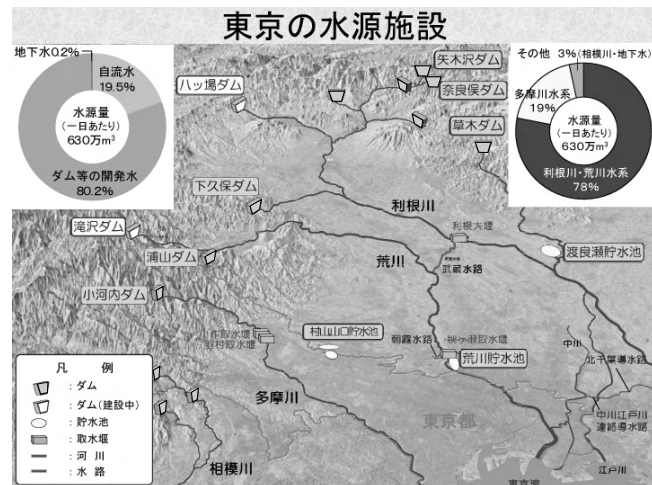
出典:平成20年版日本の水資源(国土交通省水資源部)

(資料2)

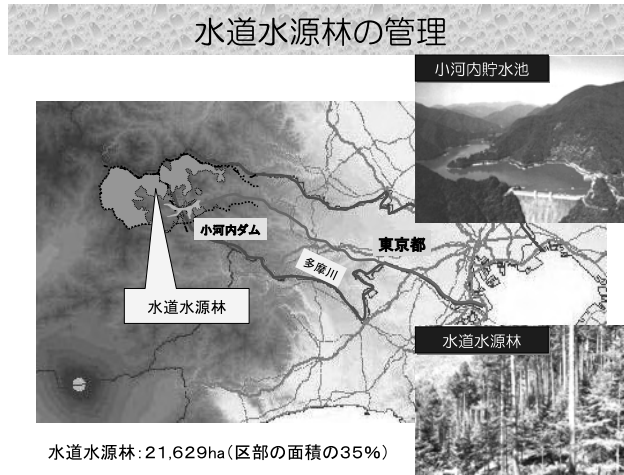
東京都水道事業の概要

	東京	(参考)	
		シカゴ	ロンドン
給水区域面積 (km ²)	1,223	1,526	1,500
給水人口 (万人)	1,249	500	700
配水管延長 (km)	25,652	6,800	約18,000
施設能力 (万m ³ /日)	686	818	253
一日平均配水量 (万m ³)	439	398	209

(資料3)



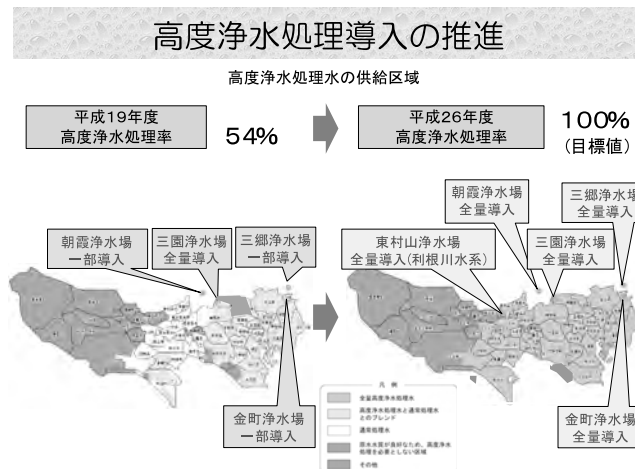
(資料4)



(資料5)



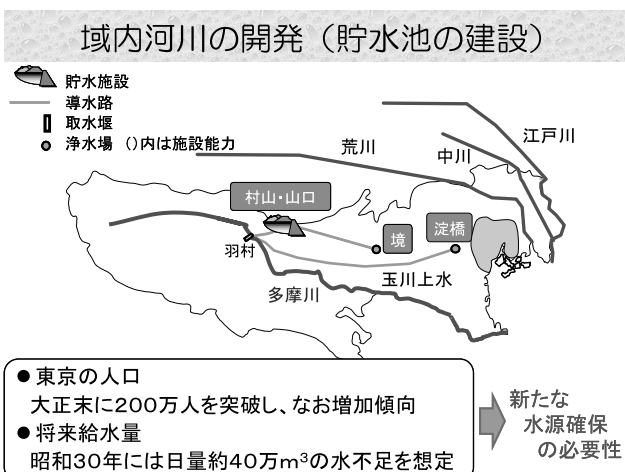
(資料6)



(資料7)



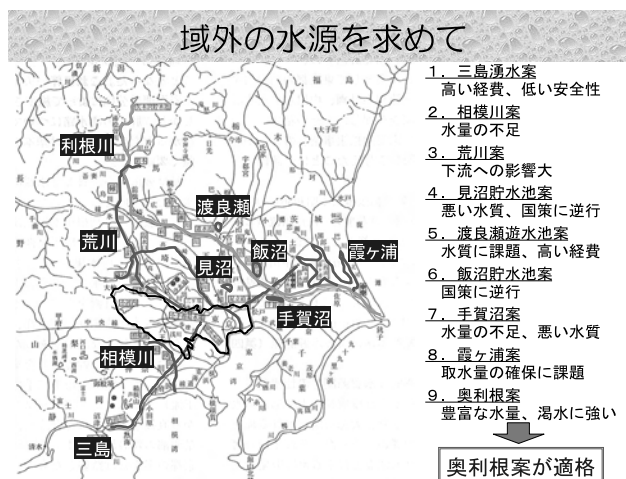
(資料8)



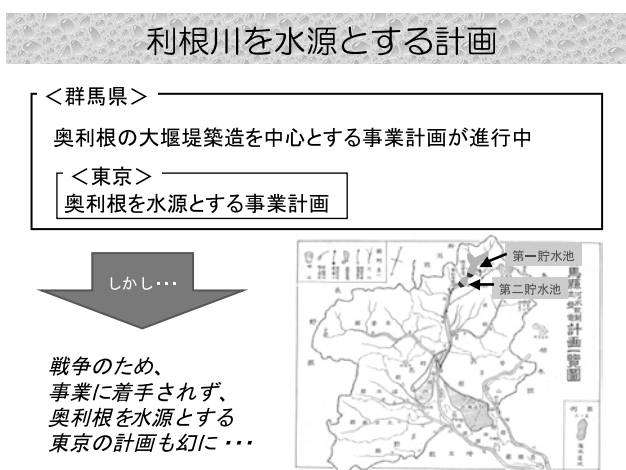
(資料9)



(資料10)



(資料11)



(資料12)



(資料13)

フルプランによる水源開発

○利根特定地域総合開発計画
 東京水道の水源を盛り込んだ内容で閣議決定(昭和32年)
 ⇒幻となった奥利根を水源とする東京の計画が復活!!
 (矢木沢ダム、下久保ダム)

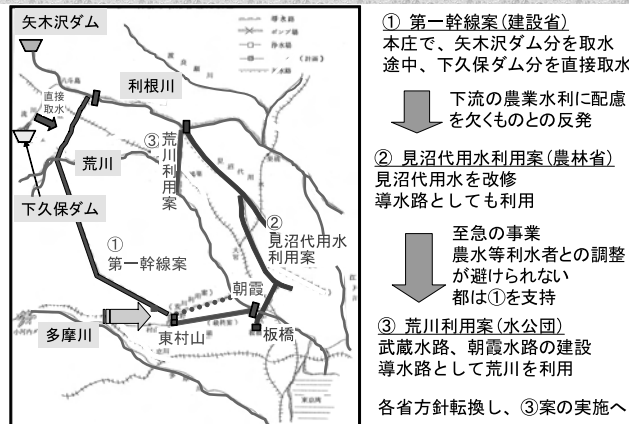
◇不十分な水源開発のしくみ
 先行的、広域的、計画的開発という点で不十分

○「水資源開発促進法」、「水資源開発公団法」の成立

◇国の施策として水資源の総合的な開発、利用を図る
 水系ごとに一貫した水資源開発基本計画(通称:フルプラン)
 の策定

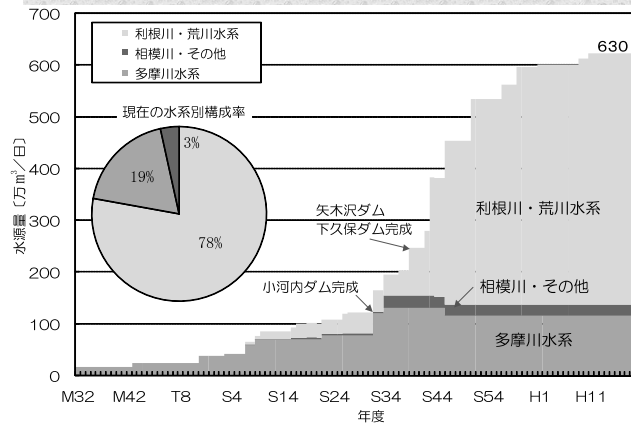
(資料14)

東京に利根川の水が届く



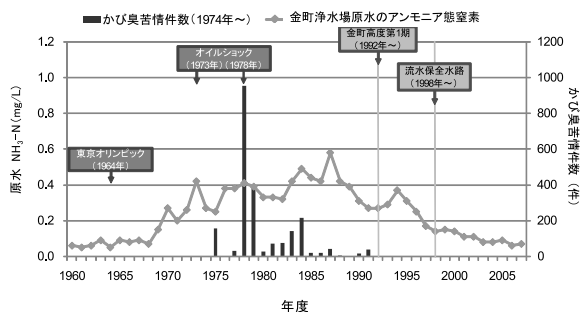
(資料15)

水系別水源量の推移



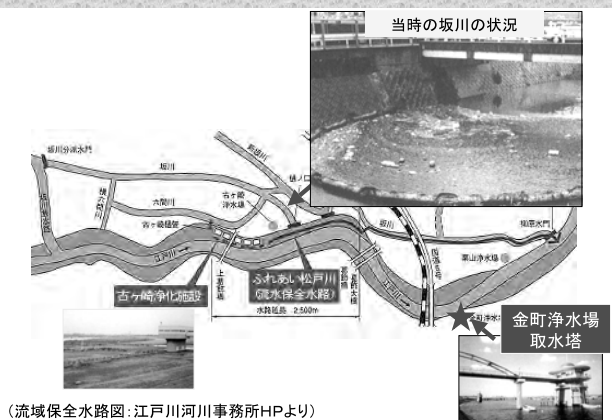
(資料16)

金町浄水場の原水水質の変遷



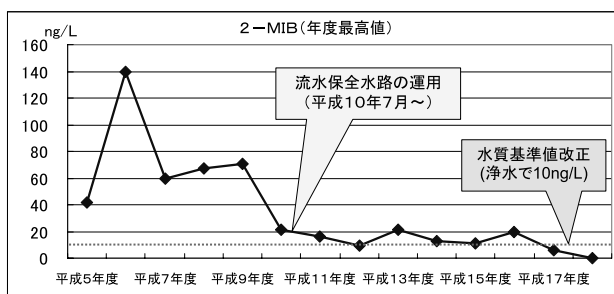
(資料17)

坂川流水保全水路



(資料18)

金町浄水場原水 カビ臭物質(2-MIB)推移



(資料19)

中川・江戸川連絡導水路(放流位置変更前)



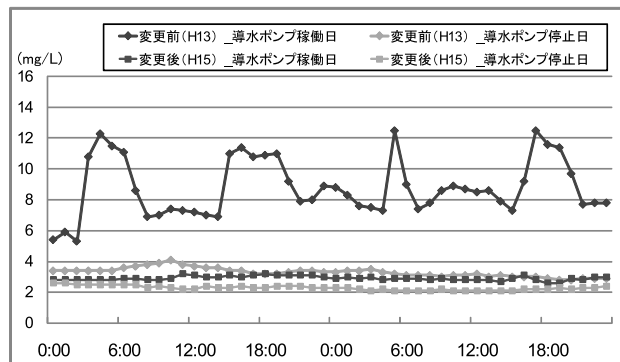
(資料20)

中川・江戸川連絡導水路(放流位置変更後)



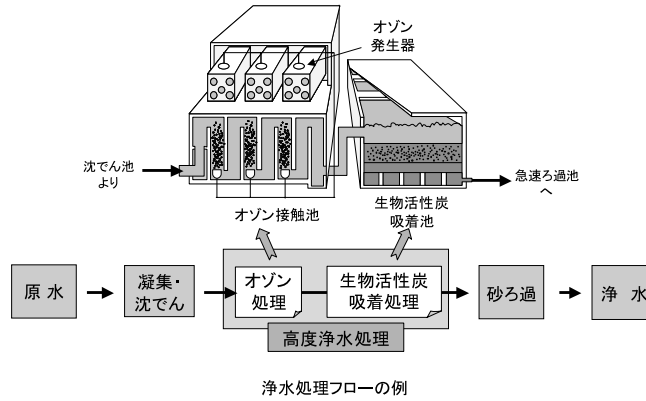
(資料21)

導水路変更前後の原水水質(塩素要求量)



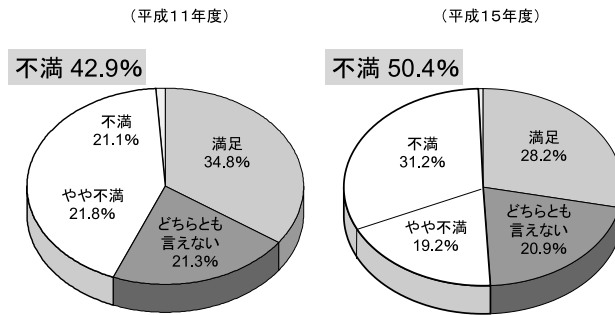
(資料22)

高度浄水処理導入の推進



(資料23)

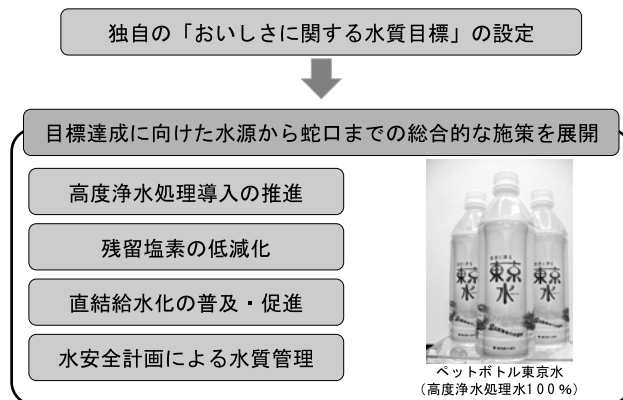
多くのお客様が飲み水に不満



(水道事業に対するお客さま満足度調査結果より)

(資料24)

安全でおいしい水プロジェクト(H16~)



(資料25)

おいしさに関する水質目標

区分	項目	単位	国が定めた水質基準等	水質目標値	平成19年度の達成率	
におい	カルキ臭	残留塩素	mg/L	1.0以下 0.1以上	0.4以下 0.1以上	65.7%
		トリクロロミン	mg/L	—	0	83.1%
	臭気強度(TON)	—	3以下	1 (臭気なし)	100%	
	かび臭	2-MIB	ng/L	10以下	0	100%
ジオスミン		ng/L	10以下	0	100%	
味	有機物(TOC)	mg/L	5以下	1以下	99.8%	
外観	色度		5以下	1以下	100%	
	濁度	度	2以下	0.1以下	99.1%	

(資料26)

水道水源林の概要

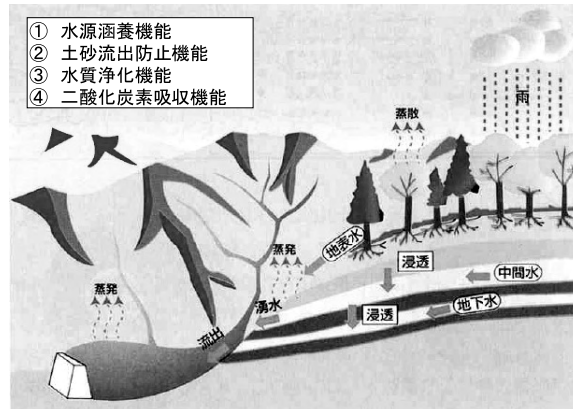


羽村取水堰上流 (単位：ha)

都県別	流域面積	水道水源林	公私有林等
東京都	27,728	7,820	19,908
山梨県	21,038	13,809	7,228
計	48,766	21,629	27,136

(資料27)


水源林の機能



(資料28)


水道水源林の取り組み

江戸時代	一帯は幕府領地に属し、概ね良好な森林を形成。
明治元年～	御料林、府有林に編入。林業行政が停滞し、森林の荒廃が進む。
明治34年	東京府が水源地の荒廃を憂い、府下の御料林を譲り受け、府自ら経営を開始。
明治43年	府下の御料林を譲り受け、水源かん養林の経営に着手。 (この間、公・私有林の買収等により規模を拡大)
昭和42年	水道水源林の規模がほぼ現在の形となる。
⋮	⋮
平成13年	水道水源林が100周年を迎える



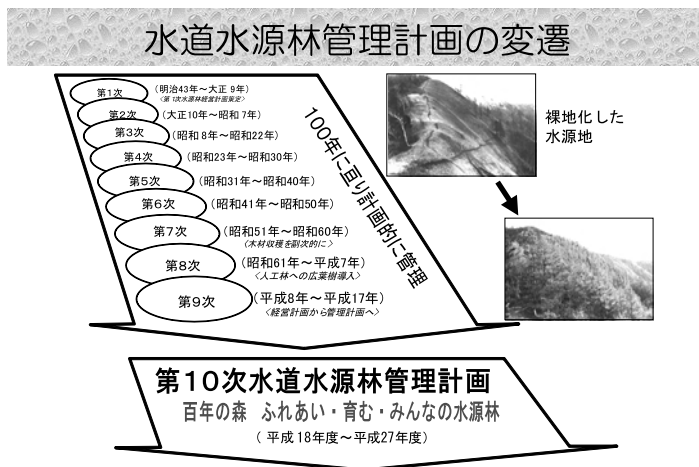
大正末期の笠取山付近無立木地

→



同地 植栽後二十年以上のクルマズミ林

(資料29)



(資料30)

